



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺

第59号

令和4年4月



第1回夢実現プロジェクトを実施 子ども健全育成部
2月20日 小学生の夢を叶えた「鎧・十二単着用体験会」

発行：市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392



Facebook



ホームページ



「市(いっ)福(ぶく)みらい会議」活動報告 “つながり広辞縁” 発刊にあたり

令和3年度から取り組んできました第2層協議体「市福みらい会議」の活動成果として「いちのべ地域のお宝“つながり広辞縁”」の冊子が仕上がりました。

発刊にあたり、3月25日コミセンにおいて、関係各位への「お披露目会」を行いました。

「市福みらい会議」の話し合いのなかで、2つのテーマで進めてきました。



発刊に当たり挨拶される谷座長

今回の発刊では、“健康”をキーワードに介護予防やフレイル（心身の衰え）予防につながる活動として、元気で長生きへの手掛りを見つけて頂けるよう、“長年取り組まれているサークル”と“新しく取り組まれたサークル”を“出会いの場やきっかけ作り”として活動を紹介しています。

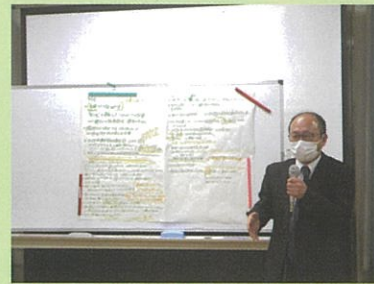
紹介内容は、冊子を4月上旬に各戸配布していますのでご覧ください。



2つのグループで行われる懇談の様様

① “誰もが安心して暮らせる地域福祉のまちづくり”を目指して一緒に考えたり、話したりする場づくり。

② “健康”をテーマに、元気な高齢者にいつまでも元気で生活するための機会づくり、場づくり。



グループ懇談の報告をされる柴田さん

地域の住民が、いつまでも生き生きと元気で暮らすためには、病気を防ぐだけでなく、心身の老化も防ぐことが大切です。介護に頼らないため、共に見守り、支え合い、豊かな暮らしを目指していきましょう。

子どもたちから選ばれた「夢実現プロジェクト」鎧・十二単着用体験会

子ども健全育成部

子ども健全育成部が取組んでいた「夢実現プロジェクト」の第1回目が実施されました。多くの小学生から寄せられた『夢』の中から選ばれた夢実現プロジェクト「鎧・十二単着用体験会」が2月20日(日)に市辺コミュニティセンターにて開催されました。(以下は同部よりのレポート)

このプロジェクトは、コロナ禍で様々な活動が制限されている小学生の夢を叶えることで、本人はもとよりご家族の方にも笑顔になってほしいとの願いから企画させていただきました。

○夢実現プロジェクトに選ばれた小椋様ご家族からのご感想

兄(海青さん)「鎧を着られて楽しかった。また次も機会があるなら織田信長の鎧が着てみたいです！」

妹(瑚白さん)「十二単は前から着てみたかったので着れてうれしかったです。衣装を貸して下さってありがとうございます」

父(健作さん)「子ども達の貴重な体験ができとてもいい思い出になりました。また歴史上の鎧や十二単にふれることで、

歴史に興味を持てるよききっかけとなりました」

母(潔子さん)「こどもの夢実現の事業第1回目に選んでいただきありがとうございます。これからもたくさん夢を実現させていってもらいたいです」

○十二単を仕立てていただいたコーディネーターの伊織様からのご感想「当日の様子をZoomで見せていただき

ました。お子様たち最初は緊張した面持ちでしたが、着物や鎧を身に着けると表情がぱっと明るくなりました。素敵な夢をみんなで叶えてやりたいと、色々動かされたご両親様とまちづくり協議会・子ども健全育成部の皆様の思いを遠い神奈川県から感動して拝見しておりました」

なお、この日の「鎧・十二単着用体験会」には、小椋さん兄妹、平井さん、岩崎さん等4人の子どもさんが参加され家族や関係者など賑やかな体験会となりました。



次号よりはじまる投稿コーナー わが家の「ペット」紹介

皆さまの多くのおうちにいる可愛いペットを
「広報誌」を通じて共有しませんか？

最近の飼ってみたいペット人気トップ10位は？

1位 イヌ	6位 ハリネズミ
2位 ネコ	7位 フェレット
3位 ゴールデンハムスター	8位 セキセイインコ
4位 カワウソ	9位 オカメインコ
5位 ウサギ	10位 チンチラ

- 投稿の条件 市辺地区の住民
- 投稿の要件 住所・氏名(掲載)・電話(連絡用・非掲載)
写真の被写体はペットのみ
添付の写真サイズは2Mb程度
- 照会事項 ペットの名前
ペットの紹介(50字以内)
- 注意事項 ペットは投稿者が飼育されているもの
掲載の時期ならびに可否の決定は広報部
- 投稿の方法 スマホやパソコンから下記アドレスに送信
アドレス ichi-kouho@e-omi.ne.jp



QRコードから送信頂く場合は、QRコードで開いた画面の「メール作成画面はこちら」をクリックしてください。

歴史・文化部

＜近日＞「勸請繩」のDVDの完成試写会
＜10月・11月予定＞
＜街道を歩く＞中山道(柏原宿～鳥居本宿)
＜街史発見塾＞陸軍八日市飛行場

3月2日、NHK・BSプレミアム放送で、「日本百低山」に飯道山ハイキングが放映され、昨年11月の「飯道山ハイキング」を思い起こしているところです。

「令和4年度の事業計画」

1. 市辺れきし発見塾を2回開催
 - ・この1月にビデオ撮影した「勸請繩」のDVDの完成試写会とその講演をできるだけ早い時期に開催します。
 - ・コロナ感染のため開催出来なかった歴史発見塾「陸軍八日市飛行場」を11月までには開催予定です。
2. 街道を歩く
 - 近江鉄道を利用して、歴史の宝庫である柏原宿をメインに「中山道(柏原宿～鳥居本宿)」を10月頃に予定しています。
3. 布施山城跡の山道整備
 - 昨年4月に「近江の城カード」が発行されたことにより布施山城跡への見学者も増えてきており、地元有志の方と連携を図りながら、安全な山道整備に努めます。
4. DVD制作など
 - 各町の神事を調査して、DVDや看板製作などに取組んでいきます。

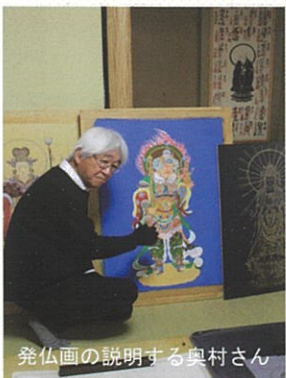
このまち「この人」

仏師 蛇溝町 奥村 克美さん

市辺コミセン前の「万葉のまち市辺散策マップ」を見られた方も多いと思います。この絵地図を描いていただいたのは、蛇溝町の奥村克美さんです。4月の初め広報誌の取材で、ご自宅を訪問しました。

ご承知の方もありますが、奥村さんは仏画を描かれています。そこでは仏像や観音像を描く絵描きとしての姿を予想していました。実際は仏師に分類されるようで、その作成作業の説明に引き込まれていきました。

お聞きすると、仏画を描かれるきっかけは、勤めておられた建築関係の仕事で寺院の宿坊の建築があり、部屋に仏像の姿図を飾る意向がありました。しかし、仏画の予算が余りに高額であり、ご自身で描けばと引き受けられたそうです。ところが、思っていた絵画と仏画は、同じ絵であっても全く別物で、これは仏画ではないと突き返され、改めて仏画というものを選び直し、1年後にやっと



発仏画の説明する奥村さん

仕上げ、納めることが出来たそうです。奥村さんは、取材の私たちに分かり易く説明して戴きました。「仏像や仏画には決まりがあり、その作法を定めた『儀軌(ぎき)』(宗派による手引書のようなもの)が有り、それに従っていない仏画は、礼拝や信仰の対象にはならない」とのことです。

また、「仏像や仏画は、模写することで、仏の世界からのメッセージを伝える役割があります。模写という言葉は、仏教的立場から転写と呼ばれていません。仏画は、絵画とは異なり、オリジナルではないのです。従って絵画のようにサインなどはしません。むしろ、依頼者名を入れます。ましてや個展などは、もっての外と言える」

と分かり易く語られました。

「仏教は宗派によって描く像も異なるため、沢山の下絵が必要であること、色彩を施すには、色の異なる顔料・岩絵具などを調合して膠(にかわ)で溶かして塗っていくことで、何百年後までも飾れる仏画となります。その手法や道具などの説明をしていただき、取材を終えました。



道具の説明をする奥村さん

部会だより

安全・安心部

昨年度は、新型コロナのため、万葉フェスタでの出店やAED講習会の実施ができませんでした。

その様な状況下、安全安心部は以下の活動を行いました。

- ① 防犯パトロールへの参加
- ② 防災無線での地震に対する啓発活動
- ③ 『減災連絡会議』への参加
- ④ 減災かるたの出前授業（布引小学校）
- ⑤ 減災・防災関連書籍・DVDの購入

減災かるたの出前授業は初めての経験でしたが、子ども達が楽しみながら学んでくれる姿には笑みがこぼれました。

最後になりますが、減災カルタや書籍・DVDはコミセンで貸し出しをしていますので、ぜひご利用ください。

安全安心部 柴田 俊幸

自然・環境部

量は多くないものの、とても美しい錦大豆が獲れました。堆肥の力です。堆肥中の善玉菌は悪玉菌を食べ、病を防ぐのです。

生ごみの堆肥化は、焼却での燃料やエネルギーも削減し、問題のCO2削減にも繋がります。

獲れた錦大豆で豆腐作りに挑戦しました。コロナ禍で人数が集まれないため、部員だけの試作でした。手絞りで豆腐は少しですが、美味しいオカラも出来ました。

コロナの心配がなくなれば、次回は地域の皆さんとやりたいです。なお、今年もコンポストを作成します。取り組まれる方で使っているのが古くなり新調されたい方には、無料でお渡しします。ご連絡をお待ちしています。

自然環境部 小西 恵美子

地域活力部

昨年度は、概ね予定通りの活動ができたように思います。2月下旬にムラサキの種を蒔きましたが、発芽率が極端に少なかった半面、生育の途中で病気にならず順調に成育しました。

6月5日、万葉の森船岡山にムラサキ苗15本を地域活力部の会員を中心に植栽しました。10月下旬まで一株も枯れることなく、夏から秋の台風もなく順調に生育しました。

また、一昨年万葉の森にムラサキを植栽した場所から4月初旬に2本のムラサキが自生していて感動的でした。その後、近辺の枝が大きく張り出したため、全く日が当たらなくなり消滅したことが残念です。

地域活力部 森島 安夫



子ども健全育成部

この1年を振り返りますと、コロナ禍であっても部長としてやりがいのある活動をすることができたと感じています。

中でも、『子ども夢実現プロジェクト』の記念すべき第1回は、皆様のご協力により盛況に無事終えることができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

新年度は、『子ども夢実現プロジェクト』をさらに充実させるとともに、他にも子ども達やそのご家族が笑顔で過ごせるような活動を企画していきたいと思っております。

部員一同精一杯頑張りますので、昨年度と同様皆様のご協力をよろしくお願い致します。

子ども健全育成部 森 耀一

健康・福祉部

令和3年度を振り返ってみると、市辺コミセン、市辺地区社協と共催をさせていただき、当初の事業を実施することができました。

10月9日には、市辺グラウンドで開催した第1回まち協会会長杯「健康グラウンド・ゴルフ大会」は72人の皆さんに参加を頂き楽しい一日でした。なお今年度も開催いたしますので「乞ご期待」。

12月1日、市辺コミセン主催で開催された「第2回ご長寿ふれあいサロン」には、昨年度に引きつづき健康・福祉部も共催させていただきました。コミセン大ホールにおいて32名の参加をいただき、「落語」や「スクワット体操」を楽しんでいただきました。

オミクロン株・コロナ禍で2年間中止をしている「福祉講演会」を、今年度は是非開催したいと考えています。

健康・福祉部 今井 肇

編集後記

桜前線の北上にせかされるように、コロナの蔓延防止処置が次々に解除されました。居酒屋の営業時間が延びるのは朗報ですが、新規感染者数は毎日万単位が普通になってきました。

他の民族を武力でねじ伏せようとする戦争がどこか遠い世界の出来事のような一方で、私たちに身近な日用品は先月と同じ値段の物がありません。

厳しい冬を耐えた年の桜ほど美しいと言われるように、コロナへの守りも怠らず、苦しい暮らしに耐えた努力が実を結ぶ日が早く訪れますように。(A・T)